

2025 年(令和 7 年)度事業報告

I 2025 年（令和 7 年）度事業の総括

2025 年度は、2024 年度より開始した新たな資産運用が、通期で収益に反映される初年度となった。2023 年度末に承認を得たポートフォリオに基づき運用を実施した結果、国内外の株価上昇及び円安基調の影響を受け、ドル建て資産からの利金・配当等が順調に推移した。これにより、当初予算を上回る活動・運営資金を確保できる見込みとなった。

事業活動においては、ここ 3 年で主要事業である表彰事業及び助成事業について、従前の内容・規模を維持するとともに、その質的向上にも取り組んだ。さらに、新規事業開発を進めている「ハロー！ミュージアム」事業においても 2030 年のゴールに向けて、予定を上回る実施数、プログラム改訂の検証、スキームの調査等順調に推進、事業展開の具体的な手応えを得る一年となった。

2025 年(令和 7 年)度の主な事業実績

公益目的事業 I 教育文化活動支援事業

1 表彰事業

福武教育文化賞(第 7 回)

厳正なる選考の上、3 個人、1 団体に決定した

受賞者及び受賞団体	
小澤 尚子（大学教員：舞踊教育学・舞踊家）	
角 ひろみ（劇作家・演出家）	
天川 栄人（作家）	
特定非営利活動法人 備前プレーパークの会	代表理事 北口 ひろみ

【実施概要】

推薦受付	4 月 21 日～6 月 30 日
推薦依頼先	市町村及び各教育委員会、報道機関、大学等 180 の宛先に依頼
推薦状況	10 件〔個人 4 件、団体 6 件〕（2024 年は、計 11 件、個人 5 件、団体 6 件）
選 考	選考委員へのヒアリングを経て、本年度より、選考事項の見直し及び評価基準の項目化を行った。事前選考では新様式を導入し、その結果に基づいて、8 月 5 日に対面での選考委員会を実施した。選考の結果、3 個人・1 団体を決定した。評価基準の項目化については選考委員から一定の評価をいただいたものの、今後も継続的な改善が求められる。また、選考委員から事務局による推薦内容の事前情報収集のあり方についてもご提言いただいた。そのため、次年度はあらかじめ選考委員から推薦内容に関する質問を募り、それに沿って情報を収集する予定である。
贈賞式	10 月 25 日岡山プラザホテルで贈賞式を開催し、招待者や受賞者関係者等約 130 名が参加した。受賞者は、これまでの活動や今後の目標について発表を行った。

2 助成事業

(1) 教育文化活動助成(公募) (総額 2,966 万円見込)

申請区分は従来どおり、教育文化による地域振興に資する活動を支援した。

申請区分	助成対象となる活動
1	地域社会(コミュニティ)の活性化に取り組む活動
2	次世代育成に取り組む活動
3	教育の質の向上や普及に取り組む活動
4	文化芸術の質の向上や普及に取り組む活動

【実施概要】

受 付	2024 年 12 月 1 日～2025 年 1 月 31 日
応募総数	240 件 (24 年 272 件、23 年 229 件、22 年 216 件、21 年 177 件、20 年 241 件)
審 査	① 審査委員による事前審査 (各担当部会の申請書を審査、評価点とコメントを依頼) ② 部会毎に事前審査結果 (事務局集計) を基にオンラインで審査委員会を開催した。
採 択	105 件 (採択率 44.6%、1 件当たり平均助成金額 28.3 万円)、総額 2,966 万円 3 月 15 日、理事の過半数以上の同意を得て決定し、採否を応募者全員へ通知した。
振り込み	4 月中旬に助成金を各助成対象者に振り込んだ。
オリエンテーション	4 月 オンラインにて 2 回開催し、参加者は約 100 名。助成活動や資金使途の多様化、活動途中での内容変更等の増加に伴い、事前相談窓口や助成対象経費の周知を行い、1 年間の活動が円滑になるよう努めた。参加できなかった団体には説明会動画を提供した。
エリア別 情報交換	5・6 月 活動に関するヒアリングと交流を図るためエリア別情報交換会をオンラインで 3 エリア備前 (2 回)・備中 (1 回)・美作 (1 回) 計 4 回実施。参加は延べ約 40 団体 60 名ほど参加。
成果報告	オンライン成果報告会 : 9/5、7、8 の 3 日間開催 (計 24 団体・個人が成果報告) 成果報告に対して審査委員がコメントをした。延べ参加者数は 160 名。報告会の動画は、財団公式 YouTube にて公開した。 対面形式による成果報告会 : 9 月 27 日開催 (会場 : 岡山プラザホテル) 4 団体がステージ上でそれぞれの活動・成果報告を行い、その後、発表団体ごとにグループに分かれての交流会と全員によるトークフォークダンスで参加者同士の紹介を行った。参加者は約 170 名。成果報告会後には全体交流会も実施し、参加者同士での交流を深める様子が多く見られた。例年 9 月下旬に対面形式の成果報告会を実施していたが、「自団体のイベントと重なり出席が難しい」といった意見が寄せられたため、来年度は参加率の向上を図る目的で 9 月上旬での開催を検討した。
その他	2024 年度から採択者に対し申請通りの希望額を助成することとした。このため、1 件あたりの助成額が増加した結果、採択件数・採択率は減少している。なお、使途不可経費の申請については、審査委員会に先立ち事務局にて申請内容の精査を行い、適宜減額の調整を講じている。

(2) 福武教育文化賞受賞者フォロー助成（総額 320 万円見込）

受賞後 3 カ年各 30 万円を限度として申請に基づき助成することとし、2025 年度は次の 11 件に対し、各 30 万円（大森氏のみ 20 万円の申請に対し 20 万円）を助成した。

授賞年度	助成先	代表	活動テーマ
2024	木口 雄人	-	「成羽音楽展覧会」を開催し、音楽と共に地域を盛り上げる
	NPO 法人科学わくわくクラブ	三宅 美郷	活動拡充のための講師・サポート人員の募集活動
	つやま城下ハイスクール	和田 優輝	わたしとまちの未来を育てる「マイパスポート」「ガイドブック」
2023	岡山楷の木少年少女合唱団	川崎 泰子	音楽芸術を超えた次世代の育成に寄与するミュージカルコンサート
	株式会社ありがとうファーム	木庭 康輔	「共に生きる」を創る おかやまインクルーシブフェスティバル
	玉野みなと芸術フェスタ実行委員会	斉藤 章夫	電子の海に溺れる人と情報伝達の在り方を問うパフォーマンス公演
	大森 静佳	-	短歌に親しむための短歌イベント 第 2 回「晴れの国 短歌の午後」
	清水 ゆき	-	ミュージカル「みどりの天使」公演
2022	森野 美咲	-	森野美咲&木口雄人 デュオリサイタル
	上田手漉和紙工場	上田 康正	手漉き和紙技術による地域づくり～唯一無二の卒業証書を通して～
	おはなしの WA♪	遠藤 寛子	絵本「ブラザーズドッグ」の歌 CD 製作及び災害復興支援朗読会開催

(3) 特定の特色ある活動に対する助成（総額 2,628 万円見込）

2024 年度に引き続き、以下の 3 分類として助成した。

① 先進的事業助成 49 件 2,382 万円

新たな教育文化的価値の創造に寄与する先進的かつ実践的な活動を行う団体等に対して助成した。

分類	助成先＜助成金額＞	代表	申請活動名
国吉	国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生講座＜1,050 万円＞	才士 真司	国吉康雄記念研究寄付講座の研究及び顕彰活動
高校・大学等と地域の連携・協働を推進する活動	Wellness & Artistic Okayama ＜30 万円＞	小比賀 美香子	人間味のある医療へ繋がることを目的としたアートワークショップ
	がくまび＜30 万円＞	松本 竜己	GAKUMABI (MMP) 中学生による地域活動(2 年目)
高校生・大学生アクション助成	岡山県立玉島商業高等学校探究チーム (タマタン) ＜16 万円＞	横山 祐緒	誰ひとり取り残さない防災力向上プロジェクト
	架けはしっ子＜20 万円＞	朴木 真菜	つながりの縁側-倉敷の空き家と地域を結ぶ拠点-
	松永 佳大＜13 万円＞	-	竹取物語 一団子屋さんで竹林再生一
	横川 幸奈＜12 万円＞	-	遺伝の面白さを広めるためにカードゲームを開発
	独立高校生＜20 万円＞	岡田 紋芽	独立国宣言
	奉還町新聞編集部＜20 万円＞	松浦 瑠夏	岡山県外出身の大学生が作成する奉還町新聞
	崎本 知椰＜20 万円＞	-	Lichen Film 岡山の画に空気感まで綴じ込めたい
	IPU・チーム SITu＜20 万円＞	串岡 脩斗	男だって生理革命！男性の生理・デオドラント対策への認知を！！
	Notte Stella＜20 万円＞	清水 梨那	食でつながり！農業×大学生×企業 ～大学生主導型 地産地消の輪～
	IPU・チーム 4 め～ん＜20 万円＞	高田 晴道	SDGs・4 育プロジェクト ～閉校になる小学校で楽しい思い出を～

分類	助成先＜助成金額＞	代表	申請活動名
高校生・大学生 アクション助成	玉野市立玉野商工高等学校 玉の輪祭りプロジェクト＜11 万円＞	岩崎 瑛麻	玉の輪祭りプロジェクト
	サイエンス in 岡山実行委員会＜20 万円＞	今田 萌乃叶	地域での科学イベントの開催及び科学の興味関心への向上
	だるまがえるくらぶ＜20 万円＞	高田 暢々華	岡山のナゴヤダルマガエルを救え！友達大募集！
	my home = your home＜18 万円＞	蜂谷 京都子	My home = your home
	岡山県立笠岡商業高等学校 笠 SHOP 探究 班「カブトガニハンター」＜20 万円＞	國定 輝奈	絶滅危惧種を大量捕獲！？
多様な芸術文化 鑑賞支援	霄のサロン＜120 万円＞	廣岡 辰哉	日本美術を新たな視点から——霄(よい)のサロン
	一般社団法人 クニヨシパートナーズ ＜50 万円＞	伊藤 駿	国吉祭 2025CARAVAN と関連イベント
	「岡山の美術」活性化実行委員会 ＜200 万円＞	直原 秀次	「岡山の美術」活性化事業
	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」実行委 員会＜30 万円＞	伊原本 隆太	アート鑑賞プログラム
	特定非営利活動法人 アートファーム ＜120 万円＞	大森 誠一	旭川河畔における拠点形成と地域再生のプロジェ クト
その他	公益社団法人 岡山県文化連盟 ＜150 万円＞	若林 昭吾	文化芸術人材バンクを活用した学校出前講座
	いのちのおはなし岡山＜30 万円＞	宇野 香織	こどもたちの未来のために「いきるちから」を伝えよう
ハロー！ ミュージアム	◆対象エリア：全県下（岡山市・倉敷市を除く。） ◆内容：大原美術館作品鑑賞、対話型鑑賞、事前学習・大原美術館訪問 ◆助成額：バス代、入館料、講師謝金・派遣交通費等実費（上限 20 万円） ◆＜総額約 302 万円見込＞ ◆実施校 ・18 小学校 24 件（学年・クラス） 勝央町立勝央北小学校 久米南町立誕生寺小学校 美作市立英田小学校 赤磐市立城南小学校 玉野市立築港小学校 美咲町立美咲中央小学校 浅口市立寄島学園 玉野市立玉小学校 玉野市立山田小学校 総社市立総社中央小学校（3 クラス） 備前市立三石小学校 美咲町立加美小学校（3・4 年生） 鏡野町立鶴喜小学校 瀬戸内市立美和小学校 和気町立本荘小学校 （3 年生 2 クラス・4 年生） 新見市立野馳小学校 浅口市立鴨方東小学校（2 クラス） 和気町立佐伯小学校		

※ 「高校生・大学生アクション助成」は、昨年に続き NPO 法人だっぴに高校生・大学生の活動の伴走支援を委託した。3 月には最終の報告会を開催した。

※ 「ハロー！ミュージアム」助成事業は、参加校からは、高い満足度を得ており、充実した事業内容となっている。

② グローバル化事業助成 2件 90万円

国際的人材育成や多文化共生につながる活動を行う団体等に対して助成した。

助成先	代表	申請活動名
居場所作りネットワーク (INE) ＜60万円＞	片山 浩子	外国にルーツのある子ども・保護者の就学支援を通じた多文化共生
岡山県日中教育交流協議会 ＜30万円＞	鍵本 芳明	中国との継続的な教育交流による青少年の国際理解教育の推進

③ 瀬戸内文化育成助成 4件 156万円

瀬戸内文化の育成、創出のために必要なプロジェクトに対して助成した。

助成先	代表	申請活動名
SANNAN 犬島プロジェクトチーム ＜30万円＞	東森 貢	地域を愛し地域から愛される子どもを育てる山南ふるさと学習
一般社団法人 犬島ととと倶楽部 ＜66万円＞	岩井 智幸	犬島と繋がる「ワークショップ」と「手入れのリレー」の実施
特定非営利活動法人公共の交通ラクダ ＜30万円＞	岡 将男	備讃瀬戸アクセスマップ
瀬戸内国際芸術祭たまの☆おもてなし 推進委員会＜30万円＞	柴田 義朗	瀬戸内国際芸術祭 2025 宇野港エリアオープニング記念イベント

(4) 公募助成に準じる緊急を要する等の助成

年度途中で申し出のあった緊急を要する教育文化活動に対して助成することとし、2025年度は対象となるものはなかった。

【助成事業一覧】

事業内容	助成件数	助成金額(万円)
教育文化活動助成 (応募 240件)	105	2,966
福武教育文化賞受賞者フォロー助成	11	320
特定助成	55	2,628
公募助成に準じる緊急を要する等の助成	0	0
合 計	171件	5,914万円

3 研修会等開催事業

(1) 福武教育文化振興財団フォーラム

2025年度のフォーラム実施については、以下の理由から見送ることとした。第一に、情報提供手段のオンライン化・多様化に伴い、従来の講演会形式が提供する価値の再考が必要となったこと。第二に、当財団が現在掲げるテーマに合致する内容の精査が必要であること。そして第三に、事業運営における職員の業務負荷軽減を優先したためである。現在、中長期的な視点から財団としての発信対象の再設定、及び発信内容の方向性やテーマについて検討を進めている。2026年度においては、設立40周年記念事業と連動させる形で、財団活動の紹介・発信の場を構築する計画である。

(2) and F 教室

地域で活動する個人・団体を対象に、共通課題の解決に繋がる研修として実施した。

実施日	テーマ	講師	実施形態	参加者数
6/22	Canva の基本の「き」 — 昨今話題の無料デザインツールの Canva の基本的活用方法を学ぶ機会の提供	杉原 禎章 コミュニケーション デザイナー	対面	25
8/23	対話鑑賞の基本の「き」 — 対話型鑑賞を大原美術館にて、実際に体験する機会の提供	寺元 静香 公益財団法人大原芸術財団 研究部研究員/ エデュケーター	対面	17
10/18	資金調達の基本の「き」 — 市民活動における資金調達や支援者を増やすために必要な事項を学ぶ機会の提供	森田 悠太郎 公益財団法人みんなで つくる財団おかやま 事務局長	対面	7

識者・助成対象者等を講師に迎え、これまでの活動経験をもとに知見や知識を共有してもらい、助成対象者間の出会いや情報交換の場として参加者の満足度も高い。

4 調査研究事業

(1) 視察研修

瀬戸内国際芸術祭開催年である 2025 年度、瀬戸芸関連の視察研修を主に役員・評議員・選考委員・審査委員、事務局職員を対象として以下の 3 回実施した。

① 「直島新美術館」視察

2025 年 7 月 5 日(土) 参加者：31 名

宇野エリア・ベネッセハウスミュージアム・直島新美術館・瀬戸内「」資料館他

② 「藤田嗣治×国吉康雄」展（兵庫県立美術館）視察＜瀬戸芸美術館連携プロジェクト＞

2025 年 8 月 10 日(日) 参加者：33 名（アテンド：岡山大学 オ士氏・伊藤氏）

兵庫県立美術館・横尾忠則現代美術館

③ 「瀬戸内国際芸術祭 西の島 本島・栗島」視察

2025 年 11 月 3 日(月・祝) 参加者：24 名（アテンド：特定非営利活動法人瀬戸内こえびネットワーク 甘利事務局長）

本島・栗島 瀬戸芸作品

(2) 公益法人情報交換会開催や各種研修・説明会等への参加

- ・ 岡山の文化芸術関係公益法人の第 28 回情報交換会を、岡山県文化連盟と共催で 3 月 19 日に開催し、岡山中央公民館視察・情報交換・アートマネジメント研修を実施。
- ・ 令和 7 年度からの公益法人制度改正に伴う、内閣府主催ブロック説明会・新会計基準説明会、助成センター主催の助成財団フォーラムにリアルまたはオンライン参加し、情報収集に努めた。
- ・ 岡山県博物館協議会に働きかけ、対話型鑑賞の研修会実施とともに、参加美術館関係者にハロー！ミュージアム事業の説明を行った。
- ・ 各種資金調達の説明会や研修に講師として参加、併せて財団の広報活動も行った。

(3) 「ハロー！ミュージアム」事業の展開方法についての調査・研究

- ・ 大原美術館以外でのテスト実施。岡山県立美術館・竹喬美術館・成羽美術館・ベネッセハウスミュージアム（福武財団）各 1 校。
- ・ 今後の継続的な運営に向けた財政面の仕組みづくりについては、公益財団法人みんなでつくる財団おかやまへ業務委託。将来の事業展開を見据えたインフラ面の検討として、バス会社への現状ヒアリング、自治体・教育委員会を対象にスクールバス運用状況調査を実施した。
- ・ 対話型鑑賞のファシリテーター養成講座の実施。学芸員等 18 名が受講。

5 主催公演事業

事業計画時より、2025 年度は実施予定しておらず、未実施。

6 広報事業

財団の活動に対する認知や公募助成の周知をより高めるべく各種施策を行った。また、瀬戸内国際芸術祭開催年であったことで、ベネッセコーポレーションと協力して岡山駅・岡山一番街を中心に瀬戸内国際芸術祭広報活動支援（駅での告知、一番街でのイベント等）を行った。

[巡回訪問]

- ・ 5 月後半から 6 月にかけて、福武教育文化賞推薦依頼・公募助成周知・財団事業の広報を兼ねて、県内自治体・教育委員会・県民局など 31 カ所訪問。

[公募助成周知]

- ・ NPO 活動支援センター・ゆうあい主催の助成事業説明会（10 月 8 日）に参加、助成先候補団体・個人との相談を行った。
- ・ 岡山県・アートで地域づくり実践講座実行委員会主催「ART で地域づくり実践講座 in 備前」に参加、同講座修了予定者に対して助成金の活用法解説及び当財団公募助成の個別相談も行った。

[公募助成事前相談]

- ・ 公募助成受付開始前から受付期間中に、対面・オンライン・電話で、申請検討中の団体・個人から事前相談に対して丁寧な対応を行い、申請を促した。

[ハロー！ミュージアム関係広報]

- ・ 岡山県博物館協議会の対話型鑑賞研修会（10 月 27 日）に参加、県内美術館学芸員に対して、「ハロー！ミュージアム」事業の説明と参画要請を行った。

[従来からの広報活動]

- ・ 財団 Web サイトの記事更新、機関誌「ふえき」の年 3 回発刊、広告掲載（10 月 26 日山陽新聞全県版カラー全 5 段：福武教育文化賞受賞者の紹介・公募助成の告知）を行った。

7 周年記念事業

2026 年度 40 周年を迎えるにあたり、記念事業の企画立案（記念誌発刊・国吉展をはじめとする周年事業展開）を行った。設立 40 周年記念誌は 6 月 1 日発刊予定、取材・編集作業を実施中。

財団運営

・ 体制および人員等の状況

2025 年度において、事務局の体制及び人員構成に大きな変更はなかった。一方で、予定外の対応として、ベネッセコーポレーションの要請によりベネッセコーポレーション広瀬町社屋から、高柳別館社屋への移転が必要となり、12 月に事務所移転を実施した。

・ 公益法人制度改革（2025 年 4 月施行）への対応

2025 年 4 月から新たな公益法人制度が導入され、これを受け、制度改革の全体像や会計基準の変更点等を把握する目的で、各種研修や説明会へ積極的に参加し、最新情報の収集に努めた。財団として必要な対応事項の整理を行い、定款や諸規程で改定が必要となる点を洗い出した。年度内に対応を要する緊急の改定項目はなかったものの、理事・監事の区分が「外部理事・外部監事」として位置づけられることから、6 月理事会・評議員会に向けて検討・準備を始めた。

・ 業務量の状況および課題

経理系業務については、昨年度より新たに資産運用関連の処理業務が発生したが、一部業務を外部委託することで大幅な負荷増は抑制された。一方、総務系業務については、事務所移転に伴う諸業務やインフラ整備が重なり、年度後半に業務負荷が増加した。また、事業活動に伴う業務負担については、職員のスキル向上、外部委託等の結果、業務負荷増はなかった。

来年度以降は、AI の活用や外部委託の拡大、業務の優先順位付けや役割分担の見直し、不要業務の整理等を進めることで負荷軽減を図るとともに、中期的には人員増についても検討したい。

Ⅱ 事業報告の附属明細書

1 役員等に関する事項

令和8年3月31日現在

役職名	氏 名	就任年月日	現 職 ・ 元 職
名誉顧問	福武總一郎	平成27年6月13日	株式会社ベネッセホールディングス 名誉顧問
代表理事 理事長	松 浦 俊 明	重任 令和6年6月15日	株式会社南方ホールディングス（分割設立・本店岡山） 代表取締役
代表理事 副理事長	片 山 浩 子	重任 令和6年6月15日	学校法人アジアの風 理事長
常任理事	小 川 隆 正	重任 令和6年6月15日	元株式会社ベネッセホールディングス 会長室室長
理 事	谷 一 尚	重任 令和6年6月15日	一般財団法人林原美術館 館長
	福武美津子	重任 令和6年6月15日	株式会社イルグラノー 代表取締役
	森田 潔	重任 令和6年6月15日	川崎医科大学 特任教授 元岡山大学 学長
監 事	福 原 一 義	重任 令和6年6月15日	福原一義公認会計士事務所 所長
	和 田 朝 治	重任 令和6年6月15日	和田・小田法律事務所 弁護士
評議員	大原あかね	重任 令和6年6月15日	公益財団法人大原芸術財団 代表理事
	鍵 本 芳 明	重任 令和6年6月15日	前岡山県教育委員会 教育長 岡山大学学術研究院教育学域 教授
	越 宗 孝 昌	重任 令和6年6月15日	株式会社山陽新聞社相談役
	下 妻 道 郎	重任 令和6年6月15日	株式会社南方ホールディングス（分割設立・本店岡山） 取締役
	高 橋 正 勝	重任 令和6年6月15日	株式会社ベネッセコーポレーション 直島担当本部長
	中 島 義 雄	重任 令和6年6月15日	ナカシマホールディングス株式会社 常務取締役
	原 憲 一	重任 令和6年6月15日	RSK ホールディングス株式会社 相談役
	守 安 收	重任 令和6年6月15日	岡山県立美術館 館長
	横 田 有 次	重任 令和6年6月15日	前岡山県 副知事 岡山県信用保証協会 会長

2 職員等に関する事項

令和8年3月31日現在

職 名	氏 名	採用年月日	常勤・非常勤	報酬	担 当
事務局長	塩 見 真 人	令和5年4月1日	常勤	有	総 括 教育文化事業総括
職 員	三宅千代子	平成13年5月1日	常勤	有	経理・総務
職 員	和 田 広 子	平成20年4月1日	常勤	有	助成事業・研修会等開催・ 調査研究・広報事業
職 員	露 崎 翔 子	令和5年4月1日	常勤	有	表彰事業・助成事業その他

3 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開催又は提案年月日	議事事項	会議の結果
令和7年5月28日 (第1回) 書面決議	第1号提案 2024年(令和6年)度事業報告及び決算の承認の件 第2号提案 2025年(令和7年)度定時評議員会開催の件 報告事項1 2024年(令和6年)度資金運用状況報告 報告事項2 2024年(令和6年)度助成事業報告	6月2日 可 決
令和7年6月21日 (第2回)	第1号議案 2025年(令和7年)度表彰事業選考委員会委員の選任の件 第2号議案 2025年(令和7年)度関連当事者との取引承認の件 報告事項1 代表理事等職務執行状況報告	6月21日 可 決
令和7年10月1日 (第3回)	第1号議案 公益財団法人福武教育文化振興財団の主たる事務所の移転の件	10月12日 可 決
令和8年1月16日 (第4回)	第1号提案 2026年(令和8年)度 助成事業審査委員会委員の選任の件 第2号提案 2025年(令和7年)度 第2回評議員会開催の件	1月26日 可 決
令和8年3月16日 (第5回)	第1号議案 特定費用準備資金の公益充実資金への読み替え及び 公益充実資金(公募助成)限度額設定の件 第2号議案 2025年(令和7年)度 収支予算書の補正の件 第3号議案 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第84条 第1項に基づく理事会の承認の件 第4号議案 2026年(令和8年)度事業計画書・収支予算書の件 第5号議案 就業規則の一部改正の件 報告事項1 代表理事等職務執行状況報告 報告事項2 2025年(令和7年)度資金運用状況報告、 2026年(令和8年)度資金運用方針について	3月16日 可 決

(2) 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和7年6月21日 (定時)	第1号議案 2024年(令和6年)度事業報告及び決算の承認の件 報告事項1 2024年(令和6年)度資金運用状況報告 報告事項2 2024年(令和6年)度助成事業報告	6月21日 可 決
令和8年3月16日 (第2回)	第1号議案 公益充実資金積立(補正予算)の件 第2号議案 2025年(令和7年)度収支予算書の補正の件 第3号議案 2026年(令和8年)度事業計画書・収支予算書の件	3月16日 可 決

4 行政庁等への申請・届出等に関する事項

申請・届出等年月日	申請・届出等事項	備 考
令和7年6月29日	事業報告等の提出	岡山県知事
令和7年12月10日	変更の届出	岡山県知事
令和8年3月21日	事業計画書等の提出	岡山県知事

5 主要な契約に関する事項

契約年月日	相手方	契約の概要
令和3年10月1日(自動更新)	株式会社あさひ印刷	助成関連事業の支援業務 (助成事業支援システム等)
令和4年4月1日(自動更新)	株式会社吉備人	公式 Web ページ更新作業請負業務
令和7年5月1日	特定非営利活動法人だっぴ	高校生・大学生アクション助成の伴奏支援
令和7年5月1日	一般社団法人はれとこ	取材ライター業務委託
令和7年7月1日	株式会社吉備人	設立40周年記念誌の制作・編集業務委託
令和7年7月1日	公益財団法人 みんなでつくる財団おかやま	ハロー！ミュージアムプロジェクト 仕組みづくり業務委託
令和7年11月1日	国立大学法人岡山大学	設立40周年記念行事業務委託

6 寄附金等に関する事項

寄附の目的	寄附者	申込金額	領収金額	備 考
該当なし				

7 行政庁の指示に関する事項

指示年月日	指示事項	履行状況
該当なし		

8 税法上の収益事業の有無

届出事業の種類	収 入	備 考
該当なし		

9 その他の注意事項

該当なし